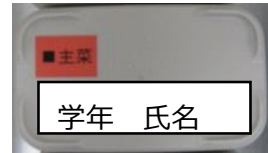


アレルギー対応食の配食方法

◆個別容器について

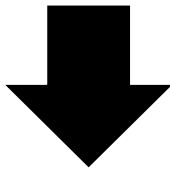
小容量配食容器や真空断熱フードジャーを使用



容器やフタには必ず学年と氏名の
テプラを貼っている

◆配送方法について

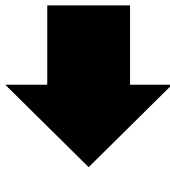
【給食センター】
アレルギー室にて
アレルギー対応食と通常給食を組み合わせ、1食分を個別で盛り付け、全容器や食器等をアレルギー専用カゴに入れる



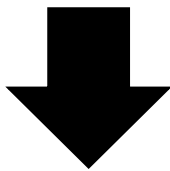
マーク

- → 主食
- → 主菜
- ▲ → 副菜

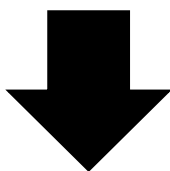
【給食センター】
配送コンテナ
該当する学校・アレルギー児童生徒が在学する学年コンテナに入れる



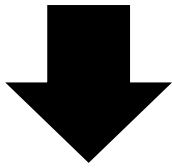
【学校】
配膳室にて
用務員がアレルギー専用カゴを台車に乗せて職員室まで運搬する



【職員室】
給食の時間になったら
アレルギーの児童が在学する学年の支援員が職員室まで取りに行き、台車を使用して教室まで運ぶ



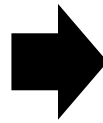
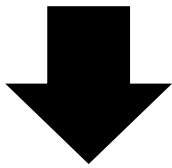
【教室】
 台車ごと自席まで運ぶ
 担任と本人でトレーに給食をセットしながら給食献立を個人カードにて確認する



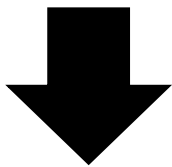
下小 1年生	
氏名	
3月1日 (月)	
ごんだて	中食チェック印 確認者 給食センター
ごはん	
緑茶	
ピビンパの具	
ナムル	
チグ汁	
確認者名:	

個人カード

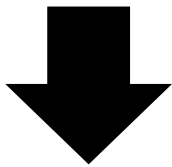
【教室】
 自席で食べるとき
 基本的には盛り付けられた容器で食べる
 汁物は専用の食器を付けているため、そこに移し替えて食べる



【教室】
 食後の返却
 残食はそのままにして返却する(全体の残食と一緒にしない)
 入っていたアレルギー専用カゴに入れて配膳室へ返却する



【学校】
 配膳室にて
 用務員がアレルギー専用カゴを職員室コンテナに入れる



【給食センター】
 アレルギー室にて
 返却されたものすべてをアレルギー室内で洗浄する